



3月号

麻布幼稚園だより

港区立麻布幼稚園
園長 佐藤 幸子

2026冬季オリンピックより

園長 佐藤 幸子

園庭の梅の花が綺麗に咲きました。子どもたちの育てているキヌサヤエンドウも白い花が咲いています。大根もぐんぐん育っています。暖かく、春を感じる季節となりました

ミラノコルティナオリンピックが開催されました。17日の会期中には、各国の代表選手が出場し、様々な物語がありました。平野歩夢さん、浅田真央さん、羽生結弦さん、を見て競技を始めたという選手もいました。私も、オリンピックの前からわくわくが止まりませんでした。競技中はテレビの前で選手が全力を発揮できるよう祈る気持ちで応援していました。選手たちの華麗なパフォーマンスを見て感動し、勇気や活力を得た方も多いことと思います。

さて、文部科学省で次期教育指導要領を作成に向けて論点整理が出されました。ここには「好きを育み得意伸ばす」とあります。苦手を克服ではなく、好きなこと、得意なことなど子どものよいところを伸ばしていこうということが大切にされています。

今回女子フィギュアスケートシングル競技の金メダリストである、アニサ・リウさんの記事を読みました。天才と呼ばれたリウさんが練習や食事を管理されることが嫌になってしまい、16歳で一度引退されたそうです。その後、リウさんは自分のしたいことをし、大学へ入学、スキーをしている時にスケートがしたくなって復帰したとのことでした。この記事から自分で決めて、自分で目指すものに向かって力を発揮することの大切さを感じました。観衆は、リウさんの演技一つひとつに歓声を上げ魅了されていました。

幼児教育では、幼児が主体的に環境に関わり、考えたり、工夫したりして、仲間と力を合わせやり遂げることを大切にしています。オリンピックの中でも幼児教育の育もうとしている力が大切であると証明されたように思います。

3月は幼稚園も就学や進級に向けてまとめの時期です。1日1日を大切に充実して過ごせるように教職員一同一丸となってまいります。保護者の皆様、ご理解とご協力をお願いいたします。



梅の花が咲きました



司会を教えてあげる！



みかん組も仲間入り